

コミュニケーション英語 I
 Revised ENGLISH NOW English Communication I
 評価規準 (例)

Lesson 1 “Hello, Everyone.”

(配当時数：4 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) 英語の自己紹介を聞く。イントネーションの違いや発音などを意識して音声を聞き、音読する。	自己紹介のしかたについて、意欲的に聞く。また、イントネーションの違いや発音などを意識して、音読している。	○				自己紹介のしかたについて、意欲的に聞く。イントネーションや発音などを意識して音読しているか観察する。意欲的に聞いて、音読していれば○と評価する。
(B) 友だちの自己紹介を聞いて、自己紹介の方法や様々な情報を学ぶ。必要に応じて、ALT や JTE の自己紹介を用いてもよい。	積極的に英語でペアワークをし、自己紹介をすることができる。	○				いろいろな生徒とペアを組ませ、自己紹介のペアワークをさせる。積極的に自己紹介していれば○と評価する。
(A) be 動詞と一般動詞の肯定文を理解する。	be 動詞と一般動詞の肯定文を理解し、英語で適切に使って話すことができる。		○		○	be 動詞と一般動詞を用いた肯定文を ALT/JTE が音読したものを適切に聞いて書き、英語で話していれば○と評価する。
(A) 基本的な助動詞(can / must / will)を用いた肯定文と否定文を理解する。	助動詞を用いた肯定文と否定文を理解して、英語で話すことができる。				○	p.19 の DRILL で英文に合う適切な助動詞を選ぶことができ、正解できれば○と評価する。
(B) 新しい情報(好きな科目や将来の夢)を自己紹介につけ加えて、ペアまたはグループごとに対話練習をする。	新しい情報(好きな科目や将来の夢)を自己紹介につけ加えて、ペアまたはグループごとに対話をすることができる。		○	○		英語でペアまたはグループごとに対話ができているかを観察する。正しく対話できれば○と評価する。
(B) p.21 の ACTIVITY の対話内容を入れかえて、簡単な自己紹介をする。	対話内容を入れかえて、英語で簡単な自己紹介をすることができる。		○	○		自己紹介や友だちの紹介のときに、その内容を聞いて、正しく対話できれば○と評価する。
(B) 自己紹介の文に1つ間違った情報を入れて、ペアまたはグループで間違いを当てる。	相手の自己紹介を聞いて、間違いを当てることができる。				○	ペアまたはグループで互いに自己紹介を聞いて、適切に間違いを当てることができれば○と評価する。

(B) グループになり，友だちの自己紹介を聞き，メモをもとに違う生徒に友だちを紹介する。	4人グループとなり，ペアを変えながら，英語で友だちを紹介することができる。		○	○	4人グループとなり，ペアを変えて別のペアに友だちを紹介し，適切に伝え，理解してもらえれば○と評価する。
--	---------------------------------------	--	---	---	---

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Lesson 2 Text Messages

(配当時数：5時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.22 の Warm-Up Listening として、スクリプトの音声を聞き、その内容を理解する。	スクリプトの音声をとおして、その内容を理解しようとしている。	○		○		絵を見て、内容について確認する。関心をもってスクリプトの音声を聞き、適切に内容を理解していれば○と評価する。
(B) p.23 と p.24 の本文を読み、日本語と英語の顔文字の違いについて理解する。また、具体的に顔文字をノートに模写する。	日本語と英語の顔文字の違いについて理解し、積極的に正しい知識を習得しようとしている。	○		○	○	日本語と英語の顔文字の違いについて、積極的に正しい知識を習得しようとし、適切に理解していれば○と評価する。
(B) p.24 と p.25 の本文を読み、text message を理解し音読する。また、短い電子メールを作成し、発表する。	text message を理解し、音読できる。また、短い電子メールを英語で書き、発表することができる。		○	○		text message を理解し、短い電子メールを英語で作成し、発表することができれば○と評価する。
(A) be 動詞、一般動詞や助動詞を使った疑問文を理解する。	be 動詞、一般動詞や助動詞を使った疑問文を理解し、英語で話すことができる。				○	p.26 の DRILL で be 動詞、一般動詞や助動詞を使った肯定文を疑問文に直し、ほぼ正確に発表できれば○と評価する。
(A) be 動詞と一般動詞の過去形を理解する。また、代表的な不規則動詞に慣れる。	be 動詞と一般動詞の過去形を理解し、英語で話すことができる。また、代表的な不規則動詞に慣れることができる。				○	p.27 の DRILL で be 動詞と一般動詞の過去形を適切に選び、発表できれば○と評価する。
(B) p.29 の ACTIVITY でペアまたはグループになり、友だちを何かに誘う電子メールを作成する。	友だちを何かに誘う電子メールを作成することができる。		○	○		友だちを何かに誘う電子メールを作成し、発表できれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Let's Communicate 1 電話をかけよう

(配当時数：2時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) 電話をかける側, 受ける側の基本表現について理解する。	電話をかける側, 受ける側の基本表現について理解し, 英語で話すことができる。				○	美樹が ALT/JTE を誘う設定でロールプレイをさせる。適切な表現を用いて対話ができれば○と評価する。
(B) 電話の対話を聞いて, 内容を聞き取る。	電話の対話を積極的に聞き, 英語で話すことができる。	○		○		積極的に英語を聞き取ろうとしているかどうかを観察する。適切に内容を聞き取り, 話すことができれば○と評価する。
	電話の対話を聞き, 内容の要点を英語で積極的に話すことができる。	○		○		対話文のポイントを空欄にして聞き取らせ, 書かせる。適切に聞いて, 書くことができれば○と評価する。
(B) 対話を聞いて, 下線部を入れかえ, ペアでロールプレイをする。	対話練習において英語で積極的に話そうとしている。	○				ペアで積極的に英語を話しているかどうか観察する。積極的に話していれば○と評価する。
(B) 教科書の対話に1文か2文を加えて, オリジナルの対話を完成し, 発表する。	教科書の対話に1文か2文を加えて, オリジナルの対話を完成し, 積極的に英語で発表することができる。	○	○			1文か2文を加えたオリジナルの対話を完成し, 積極的に話していれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Lesson 3 What Are Good Snacks?

(配当時数：5時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.34 の Warm-Up Listening として、スクリプトの音声を聞き、その内容を理解する。	スクリプトの音声をとおして、その内容を理解しようとしている。	○		○		関心をもってスクリプトの音声を聞き、適切に内容を理解し、正しい写真を選ぶことができれば○と評価する。
(B) p.35 の本文を読み、マイクとホストマザーの対話の内容を理解する。	マイクとホストマザーのそれぞれの発言の概要や要点を理解し、英語で話すことができる。		○	○		マイクとホストマザーのそれぞれの発言の概要や要点を理解しているかを確認する。適切に理解し、話していれば○と評価する。
(B) p.36 と p.37 の本文を読み、科学者の意見と理想のおやつについて、その概要と要点をつかみながら読み取る。	科学者の意見と理想のおやつについて、その概要や要点をつかみながら読み取ることができる。		○	○		科学者の意見と理想のおやつについて、その概要や要点をつかんでいるかを確認する。適切に理解し、話していれば○と評価する。
(A) 現在進行形 (be 動詞 + ~ing) の基本的な用法を理解する。	現在進行形 (be 動詞 + ~ing) の基本的な用法を理解し、英語で話すことができる。				○	p.38 の DRILL で現在進行形と現在形の基本的な違いを理解し、動詞を適切な形にすることができれば○と評価する。
(A) 接続詞の使い方を理解する。	接続詞の使い方を理解し、英語で話すことができる。				○	p.39 の DRILL で接続詞を使った文を選ばせ、発表させる。ほぼ正確に発表できれば○と評価する。
(B) ペアまたはグループになり、よく食べるおやつについて話し合う。	ペアまたはグループになり、よく食べるおやつについて英語で話し合うことができる。		○			ペアまたはグループになり、よく食べるおやつについて、ほぼ適切に英語で話し合うことができれば○と評価する。
(B) p.41 の ACTIVITY でペアになってお互いにそれぞれがふだんよくすることを紹介し、聞き取る。	ペアになってお互いにそれぞれがふだんよくすることを紹介し、聞き取ることができる。		○	○		ペアになってお互いにそれぞれがふだんよくすることを紹介し、聞き取っているか観察する。また、別のペアに適切に報告できれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Lesson 4 A Friendly Hug

(配当時間：6時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.42 の Warm-Up Listening として、スクリプトの音声を聞き、その内容を理解する。	スクリプトの音声をとおして、その内容を理解し、積極的に英語で話すことができる。	○		○		絵を見て、内容について確認する。適切に内容を理解し、積極的に話していれば○と評価する。
(B) p.43 の本文を読み、「ALT のスミス先生に翔太が電子メールを送った理由」を理解する。	「ALT のスミス先生に翔太が電子メールを送った理由」を理解し、英語で話すことができる。		○	○		「ALT のスミス先生に翔太が電子メールを送った理由」を理解し、英語で話していれば○と評価する。
(B) p.44 と p.45 の本文を読み、その内容（アメリカでホームステイをすることになった翔太が驚いたことなど）を理解する。	アメリカでホームステイをすることになった翔太が驚いたことなどを理解し、英語で話すことができる。		○	○		アメリカでホームステイをすることになった翔太が驚いたことなどを理解し、英語で話していれば○と評価する。
(A) 不定詞（名詞的用法／副詞的用法／形容詞的用法）の意味と用法を理解する。	不定詞（名詞的用法／副詞的用法／形容詞的用法）の意味と用法を理解し、英語で話すことができる。				○	p.47 の DRILL で不定詞を用いた英文を並べかえさせる。適切に語句を並べかえて、英語で話していれば○と評価する。
(A) 動名詞（動詞＋ing）の意味と用法を理解する。	動名詞（動詞＋ing）の意味と用法を理解し、英語で話すことができる。				○	p.47 の DRILL で適切な動名詞を選ぶことができ、英語で発表できれば○と評価する。
(B) ペアで文化の違いによる行動や表現の異なるものを理解し合う。	ペアで文化の違いによる行動や表現の異なるものを理解し、英語で話すことができる。		○	○	○	ペアで文化の違いによる行動や表現の異なるものを理解し、英語で適切に話せば○と評価する。
(B) p.49 の ACTIVITY の例文を使い、動名詞の用法に慣れる。	ACTIVITY の例文を使い、できるだけたくさんの友だちに尋ねることができる。		○	○		ACTIVITY の例文を使い、できるだけたくさんの友だちに尋ねることができ、適切に対話できれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.52 の Warm-Up Listening として、スクリプトの音声を聞き、その内容を理解する。	スクリプトの音声をとおして、その内容を理解し、積極的に英語で話すことができる。	○		○		写真を見て、内容について確認する。適切に内容を理解し、積極的に話していれば○と評価する。
(B) p.53の本文を読み、「カワイイ！」ということばがいろいろな国で使われている、どのようなものに使われているかを理解する。	「カワイイ！」ということばがいろいろな国で使われていて、どのようなものに使われているかを理解し、英語で話すことができる。		○	○	○	「カワイイ！」ということばがいろいろな国で使われていて、どのようなものに使われているかを理解し、英語で話していれば○と評価する。
(B) p.54 と p.55 の本文を読み、日本を訪れた外国人が「カワイイ！」と思ったものを理解する。	日本を訪れた外国人が「カワイイ！」と思ったものを理解し、英語で話すことができる。		○	○		日本を訪れた外国人が「カワイイ！」と思ったものを理解し、英語で話していれば○と評価する。
(A) 比較級と最上級の意味と用法を理解する。	比較級と最上級の意味と用法を理解し、英語で話すことができる。				○	p.57 の DRILL でスマートフォンについての文で適切な語句を選ばせる。適切に理解して、解答できていれば○と評価する。
(A) 「～に…を作る」などの言い方(SVOO)の意味と用法を理解する。	「～に…を作る」などの言い方(SVOO)の意味と用法を理解し、意味のおおる英文に並べかえることができる。				○	p.57 の DRILL で「～に…を作る」などの言い方(SVOO)の意味と用法を理解し、意味のおおる英文に並べかえることができ、英語で話していれば○と評価する。
(B) p.59 の ACTIVITY でペアまたはグループになり、各自が「カワイイ！」と思うものを取り上げ、英語で紹介し合う。また、写真などを利用し、クラス全体に Show and Tell の発表をする。	ペアまたはグループになり、各自が「カワイイ！」と思うものを取り上げ、英語で紹介し合うことができる。また、写真などを利用し、クラス全体に Show and Tell の発表をすることができる。		○	○		ペアまたはグループになり、各自が「カワイイ！」と思うものを取り上げ、英語で紹介し合うことができたり、また、写真などを利用し、クラス全体に Show and Tell の発表をすることができたりすれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.60 の Warm-Up Listening として、スクリプトの音声を聞き、その内容を理解する。	スクリプトの音声をとおして、その内容を理解し、積極的に英語で話すことができる。	○		○		絵を見て、内容について確認する。適切に内容を理解し、積極的に話していれば○と評価する。
(B) p.61 の本文を読み、日本では「先輩・後輩」ということばを使うが、英語にも同じ表現があるかどうかを理解する。	日本では「先輩・後輩」ということばを使うが、英語にも同じ表現があるかどうかを理解し、英語で話すことができる。		○	○	○	日本では「先輩・後輩」ということばを使うが、英語にも同じ表現があるかどうかを理解し、英語で話していれば○と評価する。
(B) p.62 と p.63 の本文を読み、文化が異なれば発想や表現方法が違うこともあることを理解する。	文化が異なれば発想や表現方法が違うこともあることを理解し、英語で話すことができる。		○	○	○	文化が異なれば発想や表現方法が違うこともあることを理解し、英語で話していれば○と評価する。
(A) 「～を…と呼ぶ」(SVOC)の構文の意味と用法を理解する。	「～を…と呼ぶ」(SVOC)の構文の意味と用法を理解し、英語で話すことができる。				○	p.65 の DRILL で「～を…と呼ぶ」(SVOC)の英文を正しく並べかえさせる。適切に表現できていれば○と評価する。
(A) 「(一が) …することは～です」などの言い方である〈It is ~ (for 一) to …〉の意味と用法を理解する。	「(一が) …することは～です」などの言い方である〈It is ~ (for 一) to …〉の意味と用法を理解し、英語で話すことができる。				○	p.65 の DRILL で「(一が) …することは～です」などの言い方である〈It is ~ (for 一) to …〉の英文を正しく並べかえることができ、適切に表現できていれば○と評価する。
(B) 「明日のテスト」について p.66 の対話にならない、ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話練習をする。	「明日のテスト」について p.66 の対話にならない、ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話練習をすることができる。		○			ALT/JTE やペアまたはグループごとに「明日のテスト」について対話練習をすることができるかを観察する。対話が適切にできれば○と評価する。
(B) p.67 の ACTIVITY でペアまたはグループになり、架空の新製品の CM を作り、英語で発表する。	ペアまたはグループになり、架空の新製品の CM を作り、英語で発表することができる。		○			ペアまたはグループになり、架空の新製品の CM を作り、英語で発表することができれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Let's Communicate 2 買い物しよう

(配当時数：2時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) 店で買い物をするときによく使う慣用表現を学び、店員の言うことを理解する。	店で買い物をするときによく使う慣用表現を学び、店員の言うことを理解することができる。			○	○	店で買い物をするときによく使う慣用表現 (May I help you? / Can you show me ~? / I'm looking for ~.など) を学び、店員の言うことを理解できれば○と評価する。
(B) 買い物をするとき店員の言うことを適切に聞き取る。	買い物をするとき店員の言うことを積極的に聞き取る。	○		○		積極的に英語を聞き取るようしているかどうかを観察する。適切に内容を聞き取ることができれば○と評価する。
	買い物をするとき店員の言うことを積極的に聞き、自分の思いを英語で積極的に伝えようとしている。	○	○			対話文の下線部のポイント (Can I try on this <u>sweater</u> ? / That'll be 40 <u>dollars</u> .) を空欄にして聞き取らせ、書かせる。適切に話すことができれば○と評価する。
(B) 対話を聞いて、下線部を入れかえ、ペアまたはグループでロールプレイをする。	対話練習において英語で積極的に話そうとしている。	○				ペアで積極的に英語を話しているかどうか観察する。積極的に話していれば○と評価する。
(B) ペアになり、1文を加えたオリジナルの対話を作成する。	ペアになり、1文を加えたオリジナルの対話を作成することができる。			○	○	ペアになり、1文を加えたオリジナルの対話を作成しているか観察する。対話の内容が適切に表現できていれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Reading 1 The Cracked Pot

(配当時数：6時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.72 と p.73 の本文を読み、インドの「水汲み人」の仕事の内容や持っている2つのつぼの違いについて読み取る。また、それぞれのつぼの気持ちについて話し合う。	本文の題材をもとに、物語を積極的に理解しようとしている。	○		○		本文の内容についての理解度を確認する。積極的に内容を理解しようとし、話していれば○と評価する。
	「ひび割れつぼ」と「完全なつぼ」の2つのつぼの気持ちとその理由を読み取り、話し合うことができる。			○		2つのつぼの心情とその理由を述べている文を本文中から選び出させる。正しく選び出せれば○と評価する。
(B) p.74 と p.75 の本文を読み、「ひび割れつぼ」が、水汲み人に申し訳なく思っている理由と水汲み人が道沿いに花の種を植えた理由を読み取る。「ひび割れつぼ」の気持ちの変化について話し合う。	「ひび割れつぼ」が、水汲み人に申し訳なく思っている理由と水汲み人が道沿いに花の種を植えた理由を読み取り、「ひび割れつぼ」の気持ちの変化について話し合うことができる。			○		「ひび割れつぼ」が、水汲み人に申し訳なく思っている理由と水汲み人が道沿いに花の種を植えた理由を読み取り、「ひび割れつぼ」の気持ちの変化について話し合っている。内容を適切に理解していれば○と評価する。
	「ひび割れつぼ」の気持ちの変化を積極的に予測しようとしている。	○				ペアになり、予測した結果を書かせ、話し合わせる。積極的に予測していれば○と評価する。
(B) p.76 の4枚の絵を本文の内容に合うように正しく並べかえる。そして、本文の要約文をペアで予測しながら完成することができる。	4枚の絵を本文の内容に合うように正しく並べかえ、本文の要約文をペアで予測しながら完成することができる。			○		「ひび割れつぼ」の気持ちの変化を含め、物語の内容を正しく理解していれば○と評価する。
(B) 本文を意味のまとまりを意識しながら音読する。	本文を意味のまとまりを意識しながら音読することができる。			○	○	本文を意味のまとまりを意識しながら、ほぼ適切に音読することができれば○と評価する。
(B) p.76 の After Reading の③で、ペアになり、物語のその後や「ひび割れつぼ」の気持ちについて話し合う。	ペアになり、物語のその後や「ひび割れつぼ」の気持ちについて話し合うことができる。		○			物語のその後や「ひび割れつぼ」の気持ちを、適切に発表していれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.78 の Warm-Up Listening として、スクリプトの音声を聞き、その内容を理解する。	スクリプトの音声をとおして、その内容を理解し、積極的に英語で答えることができる。	○		○		絵を見て、内容について確認する。適切に内容を理解し、積極的に話していれば○と評価する。
(B) p.79 の本文を読み、三重県のある高校が取り組んでいる「特別な課外活動」について理解する。	三重県のある高校が取り組んでいる「特別な課外活動」について理解し、英語で話すことができる。		○	○		三重県のある高校が取り組んでいる「特別な課外活動」について理解し、英語で話していれば○と評価する。
(B) p.80 と p.81 の本文を読み、「レストランの特徴・運営に携わる高校生の様子・やりがい」について理解する。	「レストランの特徴・運営に携わる高校生の様子・やりがい」について、その内容を理解し英語で話すことができる。		○	○		「レストランの特徴・運営に携わる高校生の様子・やりがい」について、その内容を理解し、英語で話していれば○と評価する。
(A) 受け身（受動態）を用いた文の意味と用法を理解する。	受け身（受動態）を用いた文の意味と用法を理解し、英語で話すことができる。				○	p.82 の DRILL で受け身（受動態）を用いた文を並べかえて完成させる。適切に語句を並べかえて、英語で話していれば○と評価する。
(A) 分詞の後置修飾（現在分詞や過去分詞で始まる句を名詞の後に置く）の意味と用法を理解する。	分詞の後置修飾（現在分詞や過去分詞で始まる句を名詞の後に置く）の意味と用法を正しく理解し、適切な位置で使うことができる。				○	p.83 の DRILL で分詞の後置修飾（現在分詞や過去分詞で始まる句を名詞の後に置く）の意味と用法を適切に理解し、正しい位置で使え、英語で発表できれば○と評価する。
(A) p.85 の ACTIVITY でペアまたはグループとなり、各自が「今年の漢字」を決め、理由を添えて発表し合う。	ペアまたはグループとなり、各自が「今年の漢字」を決め、理由を添えて発表し合うことができる。		○			ペアまたはグループとなり、各自が「今年の漢字」を決め、理由を添えて発表し合うことができ、適切に表現できていれば○と評価する。
(B) ペアまたはグループとなり、中学校や高校での職場体験の様子や感想を話し合う。	ペアまたはグループとなり、中学校や高校での職場体験の様子や感想を話し合うことができる。		○			ペアまたはグループとなり、中学校や高校での職場体験の様子や感想を話し合うことができ、適切に表現できていれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Let's Communicate 3 道案内をしよう

(配当時数：2時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) 道案内の場面でよく使う慣用表現を学び、対話を理解する。	道案内の場面でよく使う慣用表現を学び、対話を理解することができる。			○	○	道案内の場面でよく使う慣用表現(Could you tell me the way to ~? / Go straight. / It's next to ~.)を学び、適切に対話を理解することができれば○と評価する。
(B) 道案内をするときに、道を教える側と道を尋ねる側の言うことを適切に聞き取る。	道案内の場面で、道を教える側と道を尋ねる側の言うことを積極的に聞き取るようとしている。	○		○		積極的に英語を聞き取るようとしているかどうかを観察する。適切に内容を聞き取ることができれば○と評価する。
	道案内の場面で、道を教える側の言うことを積極的に聞き、目的地にたどり着けるように英語を使うことができる。	○	○	○		道案内の場面で、道を教える側の言うことを積極的に聞き、目的地にたどり着けるように適切な英語を使うことができれば○と評価する。
(B) ペアになり p.86 の地図を用いて、出発地や目的地を変えて、状況に応じながら対話練習をする。	ペアになり p.86 の地図を用いて、出発地や目的地を変えて、状況に応じながら対話練習をすることができる。		○	○		出発地や目的地を変えて、状況に応じながら対話練習をすることができるか観察する。ほぼ適切に対話ができれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.88 の Warm-Up Listening として、スクリプトの音声を聞き、その内容を理解する。	スクリプトの音声をとおして、その内容を理解し、積極的に英語で話すことができる。	○		○		写真を見て、内容について確認する。適切に内容を理解し、積極的に話していれば○と評価する。
(B) p.89 と p.90 の本文を読み、「テリー・フォックスはどのような青年であるか」また「カナダを走って横断する決意をした理由」を理解する。	「テリー・フォックスはどのような青年であるか」また「カナダを走って横断する決意をした理由」を理解し、英語で話すことができる。		○	○		「テリー・フォックスはどのような青年であるか」また「カナダを走って横断する決意をした理由」を理解し、英語で話していれば○と評価する。
(B) p.90 と p.91 の本文を読み、「テリー・フォックスは走ってカナダを横断できたか」また「彼の名前のついたマラソンが多くの人たちに支持され、世界中に広まっている理由」を理解する。	「テリー・フォックスは走ってカナダを横断できたか」また「彼の名前のついたマラソンが多くの人たちに支持され、世界中に広まっている理由」を理解し、英語で話すことができる。		○	○		「テリー・フォックスは走ってカナダを横断できたか」また「彼の名前のついたマラソンが多くの人たちに支持され、世界中に広まっている理由」を理解し、英語で話していれば○と評価する。
(A) 現在完了形の意味と用法を理解する。	現在完了形の意味と用法を理解し、英語で話すことができる。				○	p.92 の DRILL で現在完了形の意味と用法を理解し、適切に選択することができれば○と評価する。
(A) 関係代名詞の意味と用法を理解する。	関係代名詞において、「人を説明するとき」と「ものを説明するとき」の違いを理解し、英語で話すことができる。				○	p.93 の DRILL で関係代名詞において、「人を説明するとき」と「ものを説明するとき」の違いを理解し、適切に選択することができれば○と評価する。
(B) p.94 の絵を使い、スクリプトの音声を聞き、対話の内容に合う絵を選ぶ。	スクリプトの音声を聞き、対話の内容に合う絵を、適切に選ぶことができる。			○		スクリプトの音声を聞き、対話の内容に合う絵を、適切に選ぶことができれば○と評価する。
(B) p.95 の ACTIVITY でペアまたはグループになり、絵または写真を使って各自が得意なことを英語で話し合う。	ペアまたはグループになり、絵または写真を使って各自が得意なことを英語で話し合うことができる。		○	○		ペアまたはグループになり、絵または写真を使って各自が得意なことを適切に話し合うことができれば○と評価する。

(B) ペアまたはグループになり、各自が挑戦し続けていることやこだわっていることなどについて話し合う。	ペアまたはグループになり、各自が挑戦し続けていることやこだわっていることなどについて、英語で話し合うことができる。		○	○	ペアまたはグループになり、各自が挑戦し続けていることやこだわっていることなどについて、適切に英語で話し合うことができれば○と評価する。
---	---	--	---	---	---

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.96 の Warm-Up Listening として、スクリプトの音声を聞き、その内容を理解する。	スクリプトの音声をとおして、その内容を理解し、積極的に英語で話すことができる。	○		○		絵を見て、内容について確認する。適切に内容を理解し、積極的に話していれば○と評価する。
(B) p.97 の本文を読み、「もったいない」ということばをどんなときに使うか、またワングリ・マータイ氏をとおして「もったいない」ということばを理解する。	「もったいない」ということばをどんなときに使うか、またワングリ・マータイ氏をとおして「もったいない」ということばを理解し、英語で話すことができる。		○	○	○	「もったいない」ということばをどんなときに使うか、またワングリ・マータイ氏をとおして「もったいない」ということばを理解し、英語で話していれば○と評価する。
(B) p.98 と p.99 の本文を読み、どのようにして「もったいない」ということばが広まっていったのかを理解する。	どのようにして「もったいない」ということばが広まっていったのかを理解し、英語で話すことができる。		○	○	○	どのようにして「もったいない」ということばが広まっていったのかを理解し、英語で話していれば○と評価する。
(A) 関係副詞 (where/when) の意味と用法を理解する。	関係副詞 (where/when) の意味と用法を理解し、英語で話すことができる。				○	p.100 の DRILL で関係副詞 (where/when) を含んだ文を理解して、適切に語句を並べかえて、英語で話していれば○と評価する。
(A) 受け身の文に助動詞が含まれる文〈助動詞+be+過去分詞〉の意味と用法を理解する。	受け身の文に助動詞が含まれる文〈助動詞+be+過去分詞〉の意味と用法を理解し、英語で話すことができる。				○	p.101 の DRILL で受け身の文に助動詞が含まれる文〈助動詞+be+過去分詞〉を理解し、適切に語句を選び、英語で話していれば○と評価する。
(B) p.103 の ACTIVITY でペアまたはグループになり、理想の住みたい場所について話し合う。	ペアまたはグループになり、理想の住みたい場所について英語で話し合うことができる。		○	○		ペアまたはグループになり、理想の住みたい場所について、適切に英語で話し合うことができれば○と評価する。
(B) ペアまたはグループになり、「もったいない」ということばを使う場面について話し合う。	ペアまたはグループになり、「もったいない」ということばを使う場面について、英語で話し合うことができる。		○	○		ペアまたはグループになり、「もったいない」ということばを使う場面について、適切に英語で話し合うことができれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.106 と p.107 の本文を読み、「ワンガリ・マータイ氏がどのような気持ちで自分のふるさとを眺めているのか」また、「ワンガリ・マータイ氏の目の前で何が起きているのか（抱えている問題）」を話し合う。	本文の題材をもとに、情景を思い浮かべたり、その人物の気持ちを積極的に理解しようとしている。	○		○		本文の内容についての理解度を確認する。適切に内容を理解し、英語で積極的に話していれば○と評価する。
	「ワンガリ・マータイ氏の目の前で何が起きているのか（抱えている問題）」を読み取り、英語で話し合うことができる。				○	問題点の内容を述べている文を本文中から選び出させる。正しく選び出せれば○と評価する。
(B) p.108 と p.109 の本文を読み、「ワンガリ・マータイ氏がケニアでのグリーンベルト運動を始めたきっかけやどのような運動なのか」また、「グリーンベルト運動後のケニアを人々はどのように感じたのか」を話し合う。	「ワンガリ・マータイ氏がケニアでのグリーンベルト運動を始めたきっかけやどのような運動なのか」を読み取り、英語で話し合うことができる。			○		「ワンガリ・マータイ氏がケニアでのグリーンベルト運動を始めたきっかけやどのような運動なのか」を読み取り、英語で話し合っている。内容を適切に理解していれば○と評価する。
	「グリーンベルト運動後のケニアを人々はどのように感じたのか」を英語で話し合うことができる。		○	○		「グリーンベルト運動後のケニアを人々はどのように感じたのか」を話し合っている。内容を適切に理解し、英語で話し合っていれば○と評価する。
(A) センスグループの区切り方を説明し、本文に/ や//を入れる。	英文を適切なセンスグループに区切ることができる。			○	○	センスグループを理解し、英文を適切に区切ることができていれば○と評価する。
(B) センスグループを意識しながら、内容を意識して強弱をつけて本文を音読する。	センスグループを意識しながら、内容を意識して強弱をつけて本文を音読することができる。		○			ペアまたはグループになり、チェーン・リーディングで音読させる。適切に音読ができれば○と評価する。
(B) p.110 の After Reading で、本文の要約を完成するために、適切な語を選べるようペアまたはグループで話し合う。	本文の要約を完成するために、適切な語を選べるようペアまたはグループで話し合うことができる。		○	○		本文の要約を完成するために、適切な語を選べるようペアまたはグループで話し合うことができ、英文の内容が伝わるように適切に音読することができれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解